

平成25年7月16日

## 自行システムの運用・監視業務の移転について ～安定・効率的運用、BCP（事業継続計画）を強化～

株式会社 千葉興業銀行（頭取 青柳 俊一）は、平成25年7月16日（火）、システムの運用を安全かつ効率的に実施する為、当行事務センター（千葉市美浜区幸町）で運用している自行システムの運用・監視業務ならびにネットワーク監視業務を株式会社NTTデータ（代表取締役社長 岩本敏男 本社：東京都江東区）が運営するNTT DATA千葉ニュータウンビル（千葉県印西市）に移転いたしましたのでお知らせいたします。

当行では、お客さまへご満足いただけるサービスの提供とシステムの安定的、効率的な運用を図るため、システム機器を従前よりNTT DATA千葉ニュータウンビルへ順次移転、設置してまいりました。また、同ビルは、千葉県内でも地盤が安定している下総台地上に立地し、津波の影響がなく、耐震性に優れており、今回、運用部門も移転することで、災害時におけるBCP（事業継続計画）の強化にもつながり、効率的な業務運営を図ることができます。

### 記

1. 移転日時 平成25年7月16日（火）
2. 移転先 NTT DATA千葉ニュータウンビル（千葉県印西市）（※1）
3. 移転業務 自行システムの運用・監視業務（※2）

自行システムおよび運用・監視業務移転のメリット

- 耐震性に優れ、津波被災の心配がなくBCP対策を強化
- センター設備に関するコストの低減

※1 ㈱NTTデータが運営するデータセンタービル内

※2 自行システムの運用・監視業務は当行関連会社である「ちば興銀コンピュータソフト㈱」に委託。なお、基幹系システムについては、㈱NTTデータが運営する地銀共同センター（地銀15行が参加）に委託しております。

当行は、今後もお客さまに一層ご満足いただけるサービスをご提供出来るよう、システムの安定的、効率的な運用を図ってまいります。

以上